親子で学ぶ歯の絵本「チュウしたっていいよね？」　別冊付録

保護者さまのてびき

正しい知識でかしこく予防

むし歯菌の感染の予防法

歯の絵本 対策のポイントは「口（くち）うつし」

絵本「チュウしたっていいよね？」は、ストーリーを通して、「むし歯菌の親子感染」への理解を深めていただけるよう編集されています。
絵本読み解きの際のポイントをまとめました。

親子で学ぶ歯の絵本
～ここがポイント！ ①

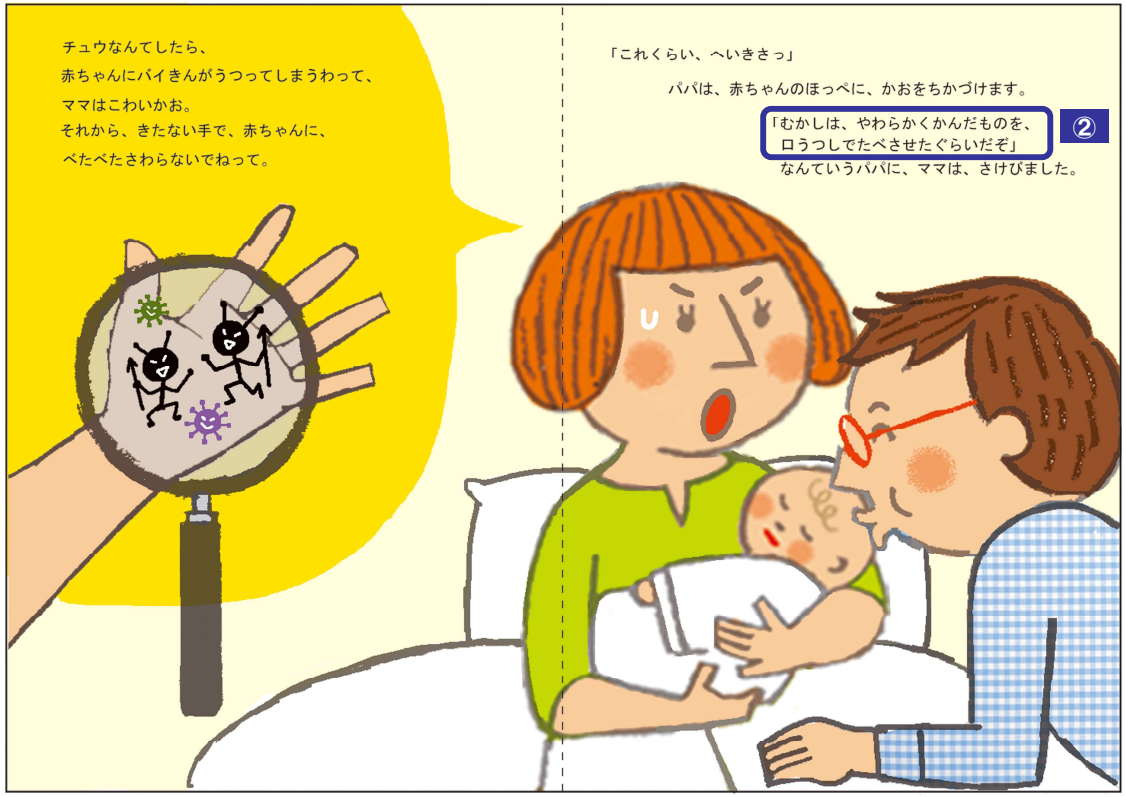
チュウなんてしたら、赤ちゃんにバイきんがうつってしまうわ

「一生むし歯になりにくい子」にするには？

この「バイきん」とはいったい何でしょう？そう、「ミュータンス菌」と呼ばれるものです。

本来生まれたての赤ちゃんの口の中にはこの菌は存在しません。
赤ちゃんの時期にこのミュータンス菌に感染すると一生むし歯のリスクがついてまわります。
ミュータンス菌を感染させないようにするにはお母さんをはじめとする周囲の方が気を配ってあげる必要があります。

逆に乳幼児期にミュータンス菌に感染しないままで過ごすことができれば、
その後のリスクは低くなります。つまり大人になってもむし歯になりにくくなります。



親子で学ぶ歯の絵本
～ここがポイント！ ②

「むかしは、やわらかくかんだものを、
口うつしでたべさせたぐらいだぞ」

大切なのは日常的なケア

ミュータンス菌感染のメカニズムが解明されたいま、徐々に親から赤ちゃんへの口うつしのリスクは世間的に認知されるようになってきました。

食べ物の温度を冷ましたり、味をたしかめたり、やわらかく噛み砕いて赤ちゃんに与えるといったいわゆる「口うつし」という行動そのものもたしかに問題ですが、
ミュータンス菌を感染させない一番の方法は、まず自分自身のお口の中の菌を減らすことです。
そのためには、まずむし歯の治療をしましょう。
そして歯磨きなどお口の手入れをしてミュータンス菌が棲みにくい環境をつくりましょう。

親子で学ぶ歯の絵本
～ここがポイント！ ③

おとなとおなじスプーンやフォークを、
つかうのもよくない。

食器を共有しないようにしましょう

スプーンやお箸などの食器を媒介にミュータンス菌が感染する可能性もあります。

お父さん、お母さんたちの食器と赤ちゃん用の食器を分けて使用するようにしましょう。

親子で学ぶ歯の絵本
～ここがポイント！ ④

ほっぺにチュウぐらいは、だいじょうぶ。

正しい知識でかしこく感染リスクに対処しましょう

この絵本のストーリーではミュータンス菌の感染をよく知っていただいた上で、
やみくもにスキンシップを減らすのではなく、正しい知識こそが必要であることを広くお伝えしたく制作しました。

まずはあまり神経質になりすぎないこと。
そして、感染の原因になりそうなことをよく認識した上で、冷静に配慮をしてあげることが大切です。